



公共工事の 需要予測の 外れ調査

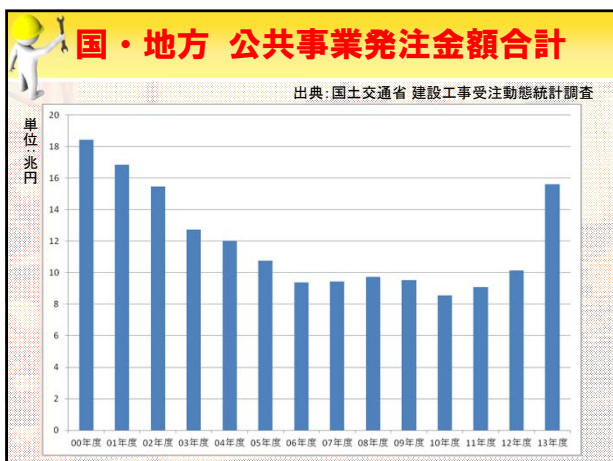
2014.9.6-7 at アイーナホール
第21回全国市民オンブズマン岩手大会
全国市民オンブズマン連絡会議

公共事業が復活

- 東日本大震災後、「復興」公共事業
- 自民党政権は「国土強靱化」
「アベノミクス」
大規模公共事業による景気浮揚を目指す
(第2の矢)

↓

ムダな公共事業 復活か？



見積もりの意味

- 初めからムダとわかっていたら
事業はできない
→ 事前見積もりは黒字

↓

はずれ
市民にツケ

見積もりの意味

実際は

- ① どのくらいはずれであるのか
- ② 誰がはずしたのか

↓

具体的に見てみよう

調査対象と調査内容

- ・ 過去10年間に国が事業評価を行った
コンテナを扱う「港の岸壁」55事業
- ・ 過去10年間に新規完成した
「鉄道」 22事業 について

- 1) 当初の需要予測
- 2) 実績
- 3) 予測した業者名と業者を選んだ方法をアンケート調査

はずれ率の算出

需要予測と実績が分かれば「はずれ率」が算出される

$$\frac{1 \text{ 年目の実際需要}}{1 \text{ 年目の需要予測}}$$

で数値化

港の岸壁調査結果

港の岸壁 55事業について
コンテナの受入量を調査

当初の需要予測	判明は17
うち実績	判明は6
	(他は整備中か内数)

なぜ当初の需要予測が分からないか
→文書保存年限が5年のため廃棄と説明
(国土交通省各整備局)

港の岸壁 需要予測はずれ率

港の岸壁 予測と実際判明 6事業について

予測<実際	1
予測>実際	5

新潟港東港区 21%
はずれ率が大
・その他は予想はずれの検討できず

鉄道調査結果

自治体・三セクが事業主体の鉄道 22事業について調査 (ただし、JRへ移管を除く)

当初の需要予測	判明は21
実績	判明は21

自治体・三セクが事業主体の鉄道は資料を破棄せず
→はずれ率を算定可能

鉄道 はずれ率

鉄道 需要予測が判明した 21事業

約半数が60%未満

- 30%未満
- 30%~60%
- 60%~100%
- 100%以上

鉄道 予測業者選定プロセス

鉄道 21事業について

随意契約	11
指名競争入札	1
入札なし	3
不明	2
非公開	3
委託せず	1

→ほとんど競争なし

鉄道 予測業者天下りの有無

鉄道11業者について

天下り	あり	3
	不明	8

事業者と深いつながりがある業者も

2014/9/6

会社ごとのはずれ率

(社) 日本交通計画協会のはずれ率

路線の名称	はずれ率	選定過程
富山都心線	57.6%	随意契約
(株) ゆりかもめ	76.7%	随意契約
富山港線	117.5%	随意契約

2014/9/6

会社ごとのはずれ率

(財) 運輸政策研究機構 (天下り) のはずれ率

路線の名称	はずれ率	選定過程
福岡市七隈線	29.3%	随意契約
横浜市4号線	44.4%	不明

2014/9/6

会社ごとのはずれ率

(株) 大阪港トランスポートシステム (天下り) のはずれ率

路線の名称	はずれ率	選定過程
大阪市南港ポートタウン線	79.9%	入札なし
大阪市南港ポートタウン線	90.4%	入札なし
大阪市中央線	92.9%	入札なし

2014/9/6

会社ごとのはずれ率

(株) 日本能率協会総合研究所のはずれ率

路線の名称	はずれ率	選定過程
西名古屋港線	22.0%	随意契約
名古屋市桜通線	43.7%	随意契約
名古屋市名城線	46.5%	随意契約

2014/9/6

名古屋臨海高速鉄道線

名古屋臨海高速鉄道線
今回対象の免許申請 (平成9年) 後も
随意契約による需要予測を継続

平成13年	中間評価のため
14年	長期収支計画立案のため
14年	乗り継ぎ割引運賃予測のため
15年	運賃認可のため
21年	事後評価

2014/9/6

**名古屋臨海高速鉄道線
随意契約の理由**

見積徴収業者が1社の理由

いずれも調査結果は良好

過去当社は、㈱日本能率協会総合研究所に平成9年「免許申請」、平成13年「中間評価に伴う費用対効果分析調査」及び平成14年「西名古屋港線需要予測調査」の3回需要予測を依頼しており、いずれも調査結果は良好である。

本調査業務は、名古屋市営地下鉄及び市バスとの乗り継ぎに割引運賃を導入した場合の利用者数の変化及び収入の増減について予測を行うものであるが、これまでの需要予測を基に調査を行う必要がある。そのためには、㈱日本能率協会総合研究所が所有するモデルを用いることが不可欠であり、他社に同一のモデル構築を求め、信頼性の高い業務を実施させることは、不可能であるため、㈱日本能率協会総合研究所1社に見積徴収を行うもの

名古屋臨海高速鉄道線

名古屋臨海高速鉄道線
今回対象の免許申請（平成9年）後も
随意契約による調査を継続
（平成13、14年、14年、15年）
随意契約の理由

- ・ 過去調査しているから
- ・ 調査結果が良好だから
（開業は平成16年）

会社ごとのはずれ率について

同じ会社でもはずれ率はばらばら

- ・ 役所の言いなりになっていないか？
- ・ ばらつきの原因は何か
- ・ そもそも予測はできるのか？

今後の課題

- ・ 需要予測の比較と分析
→なぜ違っているのか
↓
- ・ はずれた原因の究明と分析
- ・ 調査事業者の選定の監視 など

☆文書管理の徹底の要求☆